

図書だより



今月の目標!

◇平和についての本を読もう

令和4年 6月号

へいわ かんが 平和について考えよう!

もうすぐ「いれいの日」です。20万人をこえる人々がなくなった、とても悲しい沖縄戦が終わり、今年で77年がたちます。1974年10月 沖縄県は6月23日を「いれいの日」と定め、戦争でなくなった人々の霊をなぐさめ、平和をいのる日としました。石垣島でも戦争のためにたくさんの命がうしなわれました。そして、世界では今この時にも、戦争による被害に苦しんでいる人々がいます。白保小学校図書館には戦争や平和についてかかれた本や絵本があります。人々が戦争でどんな思いをしたのか、どうしたら平和な世界になるのかを考えるきっかけに、まずは1冊手にとってよんでみてください。



おすすめの本



『へいわってすてきだね』
安里有生/詩 長谷川義史/画
ブロンズ新社



『へいわとせんそう』
たにかわしゅんたろう/文
Noritake/絵
ブロンズ新社



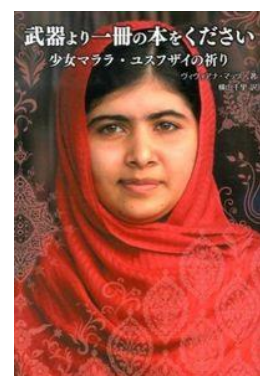
『字のないはがき』
向田邦子/原作 角田光代/文
西加奈子/絵
小学館



戦争と平和を見つめる絵本
『わたしの「やめて」』
自由と平和のための京大有志の会/文
塚本やすし/絵
朝日新聞出版



『ちいちゃんのかげおくり』
あまんきみこ/作 上野紀子/絵
あかね書房



『武器より一冊の本をください :
少女マララ・ユスフザイの祈り』
横山千里/訳 マツツア/ヴィヴィアナ(著)
金の星社